

学校体育通信 「やまぐちっ子の元気」

第23号 H28(2016).12.20 山口県教育庁学校安全・体育課 学校体育班

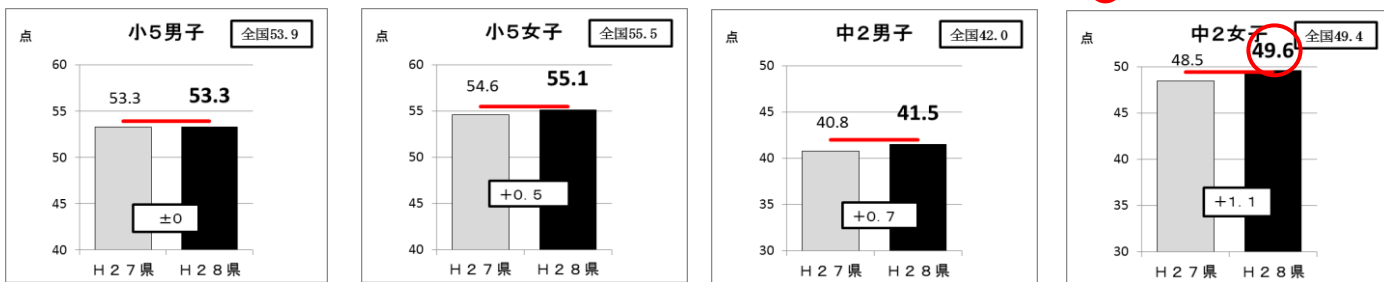
平成28年度全国体力・運動能力運動習慣等調査の結果について

スポーツ庁では、全国の子どもの体力の状況について、詳細な把握・分析を行うことを目的として、平成20年度から、表題の調査を実施しています。本年度の調査結果については、1月中旬に各小中学校へ郵送されますので、子どもの体力や運動習慣等の状況を把握いただくとともに、柔軟性向上への取り組みの見直し、1校1取組の見直し、授業の改善等に御活用ください。また、調査結果を子どもに知らせ、体力の重要性や運動への意欲が高まるきっかけとなりますように、御指導をお願いいたします。

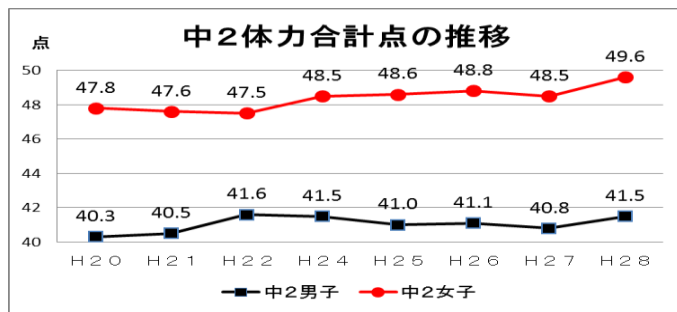
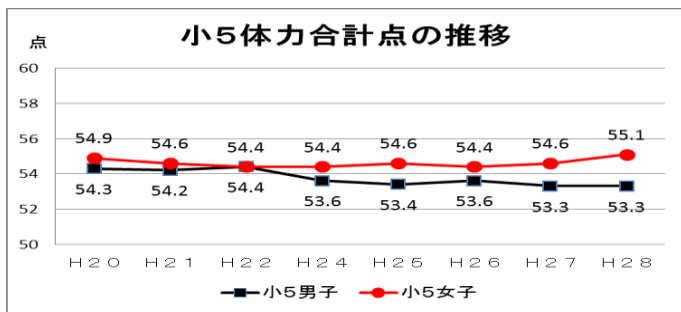
■ 体力合計点の山口県平均値と全国平均値の比較

○ 「体力合計点」は、全国平均と比較して、中2女子が上回りました。本県の昨年度の記録と比較すると、小5女子、中2男子、中2女子が上回りました。また、小5女子、中2女子は、平成20年の全国調査開始以降、「体力合計点」が県最高値となりました。

○ は、全国平均以上



<体力合計点の推移>



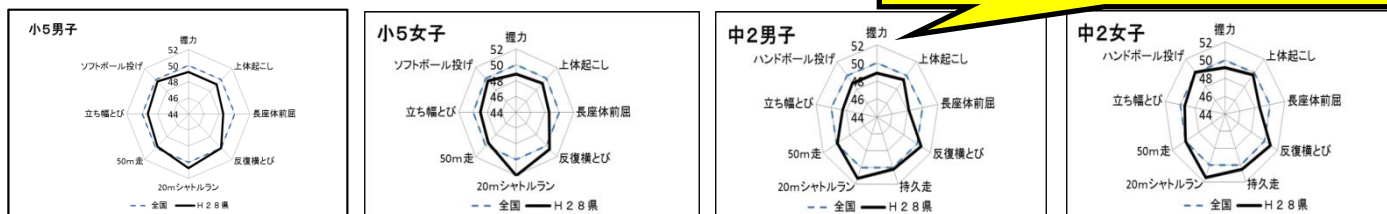
※H20・21・25・26・27・28年度は悉皆調査 H22・24年度は抽出調査 H23年度は震災により中止

■ 各調査項目の山口県の平均値と全国平均値の比較

○ 各調査項目では、全国平均と比較して、反復横とび（敏捷性）、20mシャトルラン（持久力）は、全ての調査対象で同値または上回りました。特に反復横とびは、小5女子、中2男子、中2女子が本県のこれまでの最高値となりました。これまで同様、敏捷性や持久力に優れています。

<全国平均値を「50」とした場合のレーダーチャート>

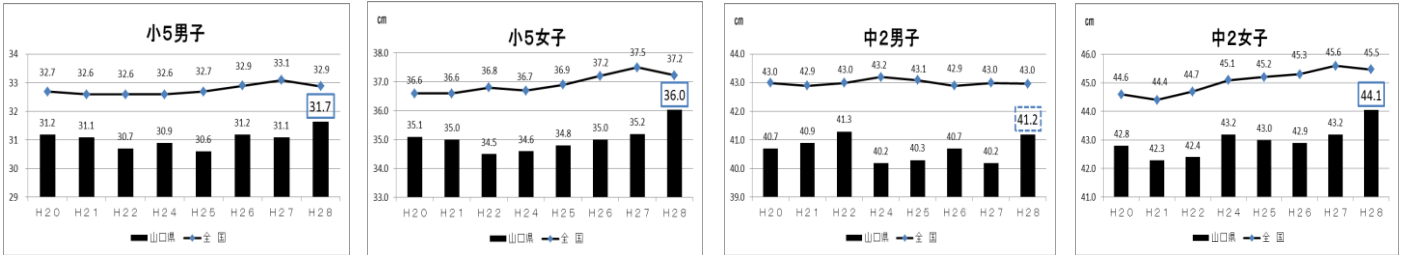
多様な運動経験によって、体力要素のバランスのよい子どもの育成を！



長座体前屈過去最高値を記録

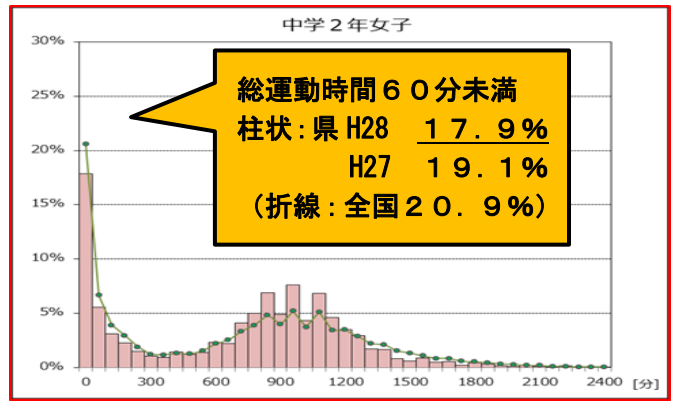
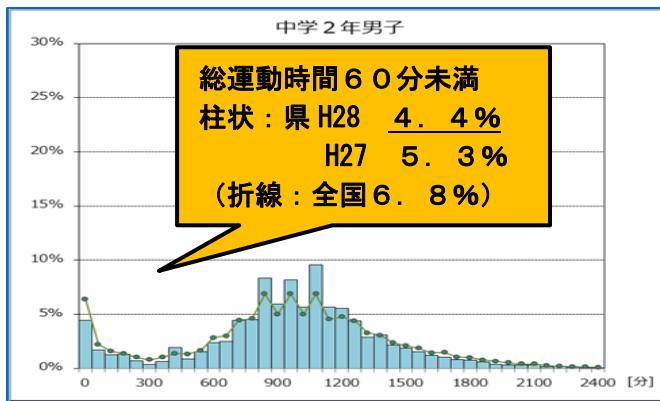
これまで、本県の大きな課題であった柔軟性については、今年度から県内全公立小・中学校の共通課題として取り組みました。その結果、柔軟性の指標である「長座体前屈」において、本県の昨年度の記録と比較して、全ての調査対象で上回り、小5男子、小5女子、中2女子で本調査がはじまった平成20年以降、本県のこれまでの過去最高値となりました。各校での、先生方の御尽力により、新体力向上プログラムによる、柔軟性向上に向けての取組や、準備運動等で実施していただいた「柔軟性向上運動メニュー」の取組の成果が出てきております。ありがとうございました。しかし、依然として、全調査対象で、全国平均値を下回っており、引き続き取り組みを進めることとしています。

<長座体前屈の推移>



1週間の総運動時間別の生徒の割合

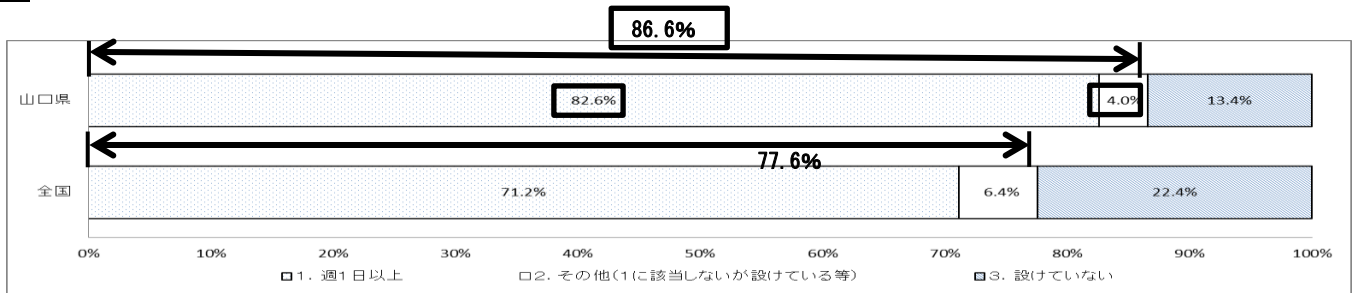
- 1週間の総運動時間が60分未満の生徒の割合は、全国と比較して低く、前年度に比べ減少しました。小学生も同様の傾向でした。(※棒グラフは県、折れ線グラフは全国の割合)



【部活動における休養日の設定】(学校質問紙)

- 部活動において休養日を設けている学校の割合は、全国と比較すると高い。
- 部活動において休養日を設けている学校のうち、土日に休養日を設けている学校の割合は93.8%であり、全国と比較すると高い。

A 学校の決まりとしての部活動における休養日の設定



B 土日の休養日の設定 ※Aにおいて「設けていない」と回答した学校を除く

